

産学交流 就職セミナー報告

主催 日本テキスタイルデザイン協会  
TDA 教育研究部会 (関東)

■日時 2002.6月16日(土)  
■会場 宝仙学園短期大学4号館2階 多目的ホール (東京都中野区)

●テーマ	『職業としてのデザイン職のありよう』 〈i;アパレル/ファッション/インテリアにおけるテキスタイルデザイナー ;就職ガイダンスと就職情報の提供	
●構成	『繊維産業とファッションビジネス』 ●学んだことを何処で活かすか 藤田 正五 (織研新聞社/事務局課長) 『インテリアテキスタイルの業界構造』 ●業界におけるテキスタイルデザイナーの役割 杉山 哲三 (元(株)セルコンデザイン顧問、日本流行色協会アドバイザー) 『ファッションとテキスタイルデザイン』 ●内外のテキスタイルデザイン事情 新井 明子 (サファファッショングループインターナショナル/東京支店理事 (株)アコスファブリックスハウス/代表取締役社長、テキスタイルデザイナー) 『寝装業界のブランド戦略』 ●デザイナーズブランドとマーケット 吉村 東一 (泰道リビング(株)/開発部商品開発課課長) 『自営業としてのテキスタイルデザイナー』 ●フリーランスのテキスタイルデザイナー 今野 文雄 (株)コン/デザインスタジオ/代表取締役社長、多摩美術大学講師) 『質疑応答』 ●企業代表者を囲んで	
●オブザーバー	企業側 中原 節雄 ((株)カネボウファッション研究所/営業第3チーム課長) 成島 喬 (西川産業(株)/マーチャンダイジング企画室室長)	学校側 女子美術大学 宝仙学園短期大学 多摩美術大学 大塚テキスタイルデザイン専門学校 東京造形大学 長岡造形大学 武蔵野美術大学



[毎年200名を越す参加者]

TDA、教育研究部会(関東)では、毎年テキスタイルデザイナーを志す学生を対象に、産学交流の一環として、就職ガイダンスを行っている。

今回の就職ガイダンスには、織研新聞社事務局から藤田正五氏をお招きし、テキスタイル産業界全般に渡る就職の状況についてお話いただいた。続いて、TDAの会員によりインテリアからファッションまで、デザイナーとして活躍できるフィールドや、ブランドビジネスについて説明を受け、フリーランサーとしてテキスタイルデザインを自営することについて、お話をうかがった。デザイナーを志す学生にとって、就職に臨む心掛け、あるいはビジネスとしてのテキスタイルデザイン、さらに現在の不況下の厳しい就職状況について、デザインの現場から具体的なお話を聴講できる貴重な機会となった。

テキスタイルデザインの学科を持つ教育機関は数多い。そこでは、専門の教育が行われているが、広いテキスタイルデザインの就職におけるフィールド全体の状況について講議を受けることはなかなかできない。TDAの組織によればそれが可能である。毎年開催されるこのガイダンスには多勢の学生が集まり、実際にこのガイダンスを就職活動の場として就職に結びつけている。

講演の後、講師の方々と学生により質疑応答が行われた。予定の時刻を過ぎても講師、又、オブザーバーとして参加された方々は解放されず、皆熱心に質問を受けておられた。教育側としても授業で忙しい学生へ積極的にセミナーへ参加できる配慮がなされていたこともあろうが、普段の学校の垣根を超えて多くの学校と学生が集い毎年200名を超えた参加者となる。3時間以上に及ぶセミナーであるが、中座する者は少なくテキスタイル各界のバラエティーに富む講議をうかがえる大変有意義な就職セミナーとなっている。企画サイドとして、今後この就職セミナーへの参加学生からアンケートを受け、より充実した企画として発展させたいと考えている。

各講師の方々、オブザーバーとして出席された企業の方々、大学、専門学校の先生方、皆ボランティアでセミナーの運営に参加して頂きました。皆様の御協力に心より御礼申し上げます。土曜日の午後でありながら会場を提供して頂き、御協力頂きました宝仙学園短期大学の皆様、御苦勞様でした。ありがとうございました。(レポート 山本 清)